

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・通年・必修
	対象学科・専攻	電子制御工学科
卒業研究 ( Graduation Research )	担当教員	電子制御工学科各教員
	教員室	
	E-Mail	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	実験・実習 / 履修単位 / 10単位	
週あたりの学習時間と回数	授業 ( 400分 ) × 30回	
〔本科目の目標〕 電子制御工学科のそれまでに修得した基礎科目、あるいは考え方を応用・発展させる場として、本学科教員の各分野の研究テーマに対し、自主的に計画・立案し、実験などを通じて諸問題を解決する能力を養うと同時に、研究成果を卒業論文としてまとめ、研究発表会において発表する能力も養う。これらを通じて以下の項目を習得する。		
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 技術者として社会への貢献と責任。</li> <li>2. 自主的に計画・立案し継続的に学習を行う能力。</li> <li>3. 文献等 ( 外国語文献を含む ) を調査・読解する能力。</li> <li>4. 論文内容を要約して報告するプレゼンテーション能力。</li> <li>5. 研究成果を論文としてまとめ記述する能力。</li> </ol>		
〔本科目の位置付け〕 卒業研究の題目により重点的に必要となる科目は異なるが、1年次から5年次までの全授業科目が関連する。		
〔学習上の留意点〕 各研究課題の割振りは年度開始時に通知する。研究テーマに関する文献を図書館で調べるなど、独力で問題に立ち向かう姿勢も重要である。研究題目によっては、正課の時間外に行うこともある。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	担当教員	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
塑性加工学・設計工学	植村	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 技術者としての社会への貢献と責任が理解できる。</li> <li>2. 自主的に計画・立案し継続的に学習を行うことができる。</li> <li>3. 文献等 ( 外国語文献を含む ) を調査・読解することができる。</li> <li>4. 論文内容を要約して報告するプレゼンテーションができる。</li> <li>5. 研究成果を論文としてまとめ記述することができる。</li> </ol>
数値制御	河野	
音声・画像のデジタル信号処理	原田	
計測制御工学	宮田	
電動機駆動	室屋	
環境電磁気学・磁気計測・地球電磁気学	鎌田	
ソフトコンピューティング ( ファジィ・ニューロ・遺伝的アルゴリズム )	岸田	
材料強度学・機械加工学	島名	
薄膜生成	新田	
動画像認識	福添	
機械工作・生産工学	吉満	
〔教科書〕		
〔参考書・補助教材〕 各担当教員から適時指示する。		
〔成績評価〕 卒業研究に対する取り組み姿勢 ( 50% )、論文の内容・論文のまとめ方 ( 20% )、研究発表・質疑応答 ( 30% )、などを総合的に評価する。		
〔本科 ( 準学士課程 ) の学習教育目標との関連〕 1-b, 2-a, 3-b, 3-d		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 2-2, 3-2, 3-3		
〔JABEEとの関連〕 ( c ) , ( d ) ( 2 ) b ) , ( g ) , ( h )		